

Ｊアラート等により緊急情報が発信された場合の対応について

広島県立福山葦陽高等学校

全国瞬時警報システム（Ｊアラート）等を通じて弾道ミサイル発射に係る緊急情報が発信された場合、次のように対応してください。

- 1 Ｊアラートが発信された場合
 - (1) 屋外にいる場合
近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難する。
 - (2) 近くに建物がない場合
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
 - (3) 屋内にいる場合
できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。
- 2 学校内で教育活動を行っている場合
 - (1) 教室にいる場合は、机の下に身を隠して頭部を守る。
 - (2) 教室外や校舎外（グラウンド等）にいる場合は、教室に戻り机の下に身を隠して頭部を守る。
 - (3) その他、必要に応じて校内放送等での指示を待つ。
- 3 登下校中の場合は、上記1の行動をとる。その際、交通安全にも気を付ける。その後は、ＴＶ・ラジオ・Ｗｅｂ等で情報収集に努め、行政からの指示があれば従って落ち着いて行動する（安全確認ができ、避難状態が解かれた場合は登下校する）。
- 4 登校時刻より前に発信された場合は、自宅で待機する。その後はＴＶ・ラジオ・Ｗｅｂ等で情報収集に努め、行政からの指示があれば従って落ち着いて行動する（安全確認ができ、避難状態が解かれた場合は11時30分までなら登校し、11時30分以降なら登校しない）。
- 5 自宅を出た後、公共交通機関等の乗車中に発信された場合は、車内・構内放送の指示に従うこと（安全確認ができ、避難状態が解かれた場合は11時30分までなら登校し、11時30分以降なら帰宅する）。
- 6 落下物らしきものを発見した場合は、決して近寄らず、警察・消防に連絡すること。

※ 近くにミサイルが着弾した場合は、屋外では口と鼻をハンカチで覆いながら現場から速やかに離れ、気密性の高い建物や風上に移動する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め目張り等をして屋内を密閉する。弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく違うので、ＴＶ・ラジオ・Ｗｅｂ等で情報収集に努め、行政からの指示があれば従って落ち着いて行動する（帰宅するか避難所に向かう）。

《休業日（部活動等）の対応について》

- 【登校前】 Ｊアラートが発信された場合は、自宅で待機する。その後の対応については、担当の先生（顧問）からの連絡を待つ。それを確認してから行動する。
- 【登下校中】 Ｊアラートが発信された場合は、上記3の行動をとる。